

七条中学校だより9月7号

京都市立七条中学校

令和8年9月9日

発行：校長 林 秀雄

定期テスト2に向けて6 土日を生かすための3日間

定期テスト2まで、あと6日となりました。

昨日からテスト1週間前となり、部活動も休止になっています。多くの人が「土日に頑張ろう」と考えていることでしょう。しかし、充実した土日にできるかどうかは、その前の水・木・金の過ごし方で決まります。今週後半の3日間をどのように使えばよいのか、一緒に考えてみましょう。

例えば、旅行に行くときも、前日に準備をしておけば当日はスムーズに出発できます。しかし、準備をせずに当日を迎えると、忘れ物を探したり、何を持っていくか迷ったりして時間を失ってしまいます。テスト勉強も同じです。

水曜日から金曜日までにやってほしいことは、「土日に何をするかを明確にすること」です。まず、各教科の学習状況を確認しましょう。「提出物は終わっているか。」「まだ終わっていない教科は何か。」「苦手な単元はどこか。」「覚えきれていない用語や公式はないか。」こうしたことを書き出してみるだけでも、自分がやるべきことが見えてきます。

次に、土日に取り組む内容を具体的に決めておきましょう。「数学のワークを最後まで仕上げる。」「英単語を100語確認する。」「理科の苦手単元を解き直す。」「社会の重要語句を覚える。」など、できるだけ具体的に決めておくことが大切です。逆に、「土日に勉強を頑張る」という計画では、何から始めればよいかわからず、気付けば時間だけが過ぎてしまうことがあります。

また、この3日間は学校で先生に質問できる貴重な期間でもあります。分からないところや不安なところを今のうちに確認しておけば、土日に一人で悩む時間を減らすことができます。そして金曜日の放課後には、「土日にやることリスト」が完成している状態を目指してください。

さらに、この時期に意識してほしいのは、「できていること」と「できていないこと」をはっきりさせることです。テスト勉強というと、つい好きな教科や解ける問題ばかり取り組みがちです。しかし、本当に力が伸びるのは、「少し苦手だな」「まだ自信がないな」と感じるころに向き合ったときです。今のうちに自分の弱点を見つけておけば、土日に重点的に取り組むことができます。

また、勉強を始める環境づくりも大切です。机の上を整理し、必要な教材をそろえ、勉強を始めやすい状態にしておきましょう。「家に帰ったらすぐ始められる」という準備が、学習時間を増やすことにつながります。土日は、計画を立てる日ではありません。実行する日です。定期テストで力を発揮する人は、特別な勉強法を知っている人ではなく、やるべきことを明確にして取り組める人です。

水曜日から金曜日までの3日間を大切にしてください。この3日間の準備が、土日の充実につながり、その積み重ねが15日、16日の成果につながります。勝負は土日に始まるのではありません。実は、その土日を迎えるまでの水曜日、木曜日、金曜日に始まっています。未来の自分が「やっておいてよかった」と思えるように、今日できる準備を一つずつ進めていきましょう。

9月9日「重陽（ちょうよう）の節句」

9月9日は「重陽の節句（重陽の節句）」です。あまり聞きなれない人もいるかもしれませんが、1月7日の人日（じんじつ）、3月3日の桃の節句、5月5日の端午の節句、7月7日の七夕と並び、日本の五節句の一つです。

昔の中国では、奇数は縁起の良い「陽」の数字と考えられていました。その中でも最も大きい奇数である「9」が重なる9月9日は、とてもめでたい日とされ、「重陽」と呼ばれるようになりました。日本でも古くから長寿や健康を願う行事として受け継がれてきました。

重陽の節句は別名「菊の節句」とも呼ばれます。この時期に美しく咲く菊は、昔から不老長寿や厄よけの象徴とされてきました。人々は菊の花を飾ったり、菊の香りを楽しんだりしながら、健康と幸せを願ったそうです。さて、みなさんにとって9月はどのような時期でしょうか。2学期が始まり、定期テスト2や七中祭に向けた取組など、様々なことに挑戦する季節です。重陽の節句には、「健康を願う」だけでなく、「実りの秋を迎える節目」という意味もあります。

季節の移り変わりや日本の伝統文化に目を向けることも、心を豊かにする大切な学びの一つです。